

# TDU Agora

特集

「ケンブリッジ大学ホマートン校」講師による模擬講義…………… 1

豊島岡女子学園との協定締結 ～中高大連携の発展を目指す～ …… 2

## CONTENTS

今月の顔 福富信也 講師 (理工学部 共通教育群 理工学部 蹴球部 監督)…………… 3	TOPICS …………… 6
働く電大人 河原塚史裕さん (平成27年3月 工学研究科 機械工学専攻修了) …… 4	キャンパスよもやま情報 …………… 7
TDU LABO 建築・都市空間研究室(未来科学部 建築学科) …… 5	News …………… 7
	Information …………… 11



ケンブリッジ大学ホマートン校模擬講義でのポスター発表



特集1

講師の先生のアドバイス

## 「ケンブリッジ大学ホマートン校」講師による模擬講義 国際センター

4月5日、本学と交流のあるケンブリッジ大学ホマートン校より、講師のシュアート先生とスコット先生及びTA( Teaching Assistant)の学生2名が東京千住キャンパスに來校し、ケンブリッジ大学方式の模擬講義が行われました。本学学生は24名が講義に参加しました。

本学では、夏季と春季休業中に、ケンブリッジ大学ホマートン校のHomerton International Programme (HIP)に参加しています。参加者からの評価が非常に高いプログラムで、国際センターでは、実際にHIPやケンブリッジ大学で行われている授業を体験してもらうことを目的に模擬講義をお願いし、昨年に続いて今年で2回目の開催となりました。

約2時間にわたる講義では、一グループ6人の4グループに分かれ、(1)British Manners(2)Climate Change Crisisをテーマに、グループディスカッションを行いました。British Mannersではイギリスと日本のマナーについて比較し、good mannerとbad mannerについ

て英語で話し合い、発表しました。Climate Change Crisis(気候変動の危機)では、環境変化が与える影響や環境破壊について話しあいました。その後グループを二つに分け、Global Warming(地球温暖化)が政府にとっての最優先事項になるかどうかについて、賛成と反対に分かれて話し合い、最後にポスター用紙にまとめて発表しました。

本学学生は、ケンブリッジ大学の講師の先生とTAから適宜アドバイスをいただきながら議論を深めていきました。英語のみで論理的に話を進めていくことの難しさを感じながら、参加した学生は熱心に議論に参加していました。英語力も大切ですが、それ以上に自らの意見を述べることで、まわりの参加者と協力しながら議論を深めていくことの楽しさを学ぶことができました。

今後もこのような機会を提供していきますので、是非、ご参加ください。



グループディスカッション



英語での議論に耳をかたむける



講義後の集合写真



4月25日、豊島岡女子学園にて協定締結式

特集 2

## 豊島岡女子学園との協定締結 ～中高大連携の発展を目指す～

4月25日、本学と豊島岡女子学園中学校・高等学校は、中高大連携に関する協定を締結しました。豊島岡女子学園は、経験をともなうモノづくりを探究型学習として導入し、平成30年度から、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール指定校となっている有名進学校です。同校では、平成28年度から本学教員による出張授業を開催し、生徒が部品を選定し設計を考える、正解が用意されていない体験型のモノづくり講座や授業を行い、交流を深めてきました。

協定締結式は豊島岡女子学園(豊島区東池袋)にて行なわれ、本学 安田浩学長、同校の竹鼻志乃校長が協定書に署名。その後の懇談では、今後の中高・大学間の理数系教育のあり方や女子中高生のモノづくりへの興味を喚起するきっかけ作り、今後行なうモノづくり授業のテーマなどを話し合いました。

今後はこれまでの交流実績を踏まえ、中学生・高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、中高・大学の教育に関する相互の理解を深め、新しい教育のあり方や双方の教育活性化を図ることを目指します。

### これまで実施したのづくりプロジェクトなど

#### 重量挙げコンテスト

平成28年9月

機体は段ボール、電源は単三乾電池1個のロボットを作成し、重量挙げにチャレンジ。より重いバーベルを持ち上げたチームが優勝。

講師：機械工学科先端機械コース 藤田 壽憲 教授、桑名 健太 准教授

#### スパゲッティブリッジコンテスト

平成29年1月

荷重に耐えられる構造をチームで検討しスパゲッティで橋を作成。橋のデザインと、どれだけ荷重に耐えられるかを競技。

講師：建築学科 今川 憲英 名誉教授、山川 誠 准教授※

#### リニアモーターカープロジェクト

平成30年1月

ハンダ付けでリニアモーターカーを作成。トーナメント方式でチームごとレースを行いスピードを競った。

講師：電子システム工学科 大内 幹夫 教授※、高岡 技師

#### 厚紙ブリッジコンテスト

平成30年7月、9月

荷重に耐えられる構造をチームで検討し厚紙で橋を作成。橋のデザインを生徒全員で評価。その後、どれだけ荷重に耐えられるかを競技。

講師：建築学科 朝川 剛 准教授、笹谷 真通 准教授

#### FLY HIGH！ ～飛ぶ生き物を模倣せよ～

平成30年7月

生物の優れた仕組みを模倣して人工的に再現するバイオミメティクスを学び、飛翔体づくりに挑戦。飛行時間や飛翔体のサイズを競技。

講師：ロボット・メカトロニクス学科 藤川 太郎 准教授

※所属、役職は当時



スパゲッティブリッジコンテスト



厚紙ブリッジコンテスト



FLY HIGH！ ～飛ぶ生き物を模倣せよ～

# 思いを一つに、ゴールに向かう組織づくり ～理工系サッカー定期戦、開催から勝利までの道のり～



理工学部 共通教育群  
理工学部 蹴球部 監督  
**福富 信也 講師**



理工系定期戦では、3回目にして悲願の勝利！

## きっかけはグラウンドの人工芝化

このたび私の、3冊目の著書「脱 トップダウン思考」が出版されました。ビジネス界では、「予測不可能で、変化が連続する、正解のない時代に突入した」と叫ばれています。しかし、アスリートは常にそういう厳しい環境で闘っています。急な天候の変化、予測困難な対戦相手の布陣、想定外のケガなど、挙げたらキリがありません。そんなスポーツをヒントに、これからの時代を生き抜くチームワークの在り方について、豊富な事例を交えて解説したのが本書です。本書の中には、理工学部蹴球部での事例にもいくつか触れていますが、ここでは学生主体で開催している「定期戦」についてご紹介します。

埼玉鳩山キャンパスグラウンドの人工芝化が決定した4年前、私が学生に伝えたことは「これで毎日30分のグラウンド整備をしなくてすむ。大学が私たちに毎日30分という貴重な時間を生み出してくれた。この30分を大学への恩返しに使えるか？」ということでした。すると、学生たちから「定期戦」という発想が出てきました。コンセプトは以下の5つです。

- 人工芝を作ってくれた大学への感謝を示す
- 大学を背負う誇りを持ち、歴史と伝統をつくる
- 地域に愛されるような魅力を発信する
- 下火になりつつある理工系サッカーを盛り上げる
- 引き分けのない真剣勝負で、自分たちの成長につなげる



入場曲やナレーションは、音響サークルが担当

## 理工学部サッカー部「定期戦」

まるで人工芝工事の進捗とシンクロするかのよう、定期戦の準備も進んでいきました。対戦相手には、色々な意味でライバル関係にある芝浦工業大学にお願いしました。また、長い伝統とプライドがぶつかり合う「早慶定期戦」を視察に行きました。そのような過程を経て、今年度の定期戦は4月20日に盛大に行われ、3回目にして見事初勝利を手にしました。

私たちは単に勝利を得ただけではなく、「自走するチームの在り方」を学びました。5つのコンセプトを胸に、過去3回すべての準備を学生だけで行い、私の想定をはるかに上回るアイデアが生み出されています。

「課外活動全体を盛り上げたい」という発想から、音響サークルのケイトに当日の放送関係を、写真部には白熱する試合の撮影をお願いしました。また、地元中学校による前座試合も行いました。選手入場時にアンセムが流れ、選手紹介や得点者のコールがされたことに感激している保護者の方が多数おられました。その他、ポスターや選手名鑑づくり、鉄道各社への掲示の依頼、毎日更新されるPV、当日の駐車場誘導や受付係、審判派遣などなど、何ひとつとして私の指示なく、すべて学生が作り上げました。

5つのコンセプトを具現化してくれた学生を心から尊敬します。トップダウンの弊害は、「リーダーの限界が組織の限界」になってしまう点です。これからも、本学の学生がますます光輝く機会を創出できればと思っています。



元サッカー日本代表監督  
岡田武史氏と

# 「エンジン」に携わる夢を実現 ～大学院で学んだ知識を活かし、研究者に～



株式会社いすゞ中央研究所  
研究第二部  
(現在、いすゞ自動車株式会社の開発部門へ 出向しPT電子制御の開発に従事)

**河原塚 史裕さん**

平成27年3月 工学研究科 機械工学専攻修了(内燃機関研究室)



いすゞ中央研究所

幼い頃から車やバイクが好きでした。高校生の頃には車やバイクのエンジンに関する仕事をしたいと思い、エンジンに関する研究室のある大学を受験し、東京電機大学工学部機械工学科に入学しました。授業では熱力学や流体力学などエンジンに関連しそうな科目を積極的に履修しました。より自身の能力を高めたいと思い大学院へと進学し、工学研究科機械工学専攻の内燃機関研究室に所属。エンジンから排出される「すす」に関する研究を行っていました。

大学院での学びを通して「研究」を仕事にしたいという思いが強くなっていき、企業内の研究部門ではなく独立した研究所であり、学会や論文などで多くの研究者を見かけ研究活動に積極的であるという印象があった、株式会社いすゞ中央研究所に入社しました。

株式会社いすゞ中央研究所は、いすゞ自動車株式会社の研究および先行開発を担う会社です。ディーゼルエンジンに関する研究と、自動運転や安全性、電動化技術等のいすゞ自動車の商品に関わる様々なテーマについて研究を行っています。私はエンジン部門に所属しエンジンの出力向上に関する研究を行い、主にエンジン実験を担当していましたが、担当した当初は教科書で読んだ理論通りの結果が得られたことに感動しま

した。研究を進める上で評価する実験内容に合わせ、エンジンを試作、改造し評価するという一連の流れがあります。当社では研究員自身で評価に向けたエンジン仕様を選定し、試作から評価までを行うことができます。自分で選定した仕様でエンジンを試作し目標通りの性能を達成したときは、達成感以上に無事に試験ができたという安堵感が大きかったことを覚えています。また、得られた結果が開発の参考になるなど、次につながる結果となることも大きなやりがいを感じます。

幼少の頃に憧れたエンジンに携わることができ、現在の仕事はとても充実しています。しかし、報告などを行う際に自身の知識の足りなさを感じることがあり、上司、先輩方に追いつくため、更なる知識・知見の取得に日々努力しています。

学生時代は自身の生き方を真剣に考えることができる時期です。大学での課題やレポート、卒業研究や修士論文は大変なものですが、そこで得た学ぶ姿勢は社会人となってからも重要となります。学生時代に手を抜くことなく努力し、自ら学ぶ姿勢を身に付け、社会人となってからも学ぶことを忘れないで欲しいと思います。



評価内容によっては車両で試験することも



性能評価実験の様子

# 建築・都市空間研究室

～より豊かな建築・都市空間を創造するために～

未来科学部 建築学科  
積田 洋 教授



建築や都市の空間をより魅力的で快適な空間として創造していくためには、建築・都市のもつ利便性や機能的な側面のみならず、空間のもつ固有な雰囲気やイメージを、人間の意識を主体とした評価を客観的に捉えて、空間を構成する様々な要素との関係を科学的・数理的な方法で定性的に探求することが重要です。

建築において建築設計の基盤・指針となる極めて重要な分野である建築計画は、建築の施設規模や機能・動線などについて、いわゆる使われ方の研究として、その研究成果は平面計画の決定に際して重要な役割を果たしてきました。しかし、建築や都市空間では機能的な問題はもとより、空間を使用する私たち人間がどのようにその空間を享受するか、その評価が新たな空間デザインにとって極めて重要なことと言えます。こうした視点から研究を進めています。現在、中国廈門コロンス島の景観、高層建築のファサードデザイン、

駅前などの交通広場、官民主体の複合施設の構成、文化的遺産である建築遺構、日本特有の空間概念である間合い、集合住宅のインテリアなどをテーマに空間計画、建築計画、都市計画に資する研究を行っています。過去には日本精神神経学会で発表した精神科病院の保護室、様々な土地の有する地霊・ゲニウスロキ、日本庭園のシークエンスや、海外ではイタリア都市の図と地の構成、ネパールの広場の研究などを行いました。

研究室ではまず実際の空間を体験することを重要視しています。国内・国外を問わず様々な場所にフィールドワーク調査に行きます。学生自ら空間を体験して空間の成り立ちを観察し、人間の意識と空間の構成について調査や実験方法・分析手法を考案し研究を進めています。また大学院生の研究成果は、日本建築学会の論文やヨーロッパやアメリカなどの国際会議論文として発表し、研究発表で栄誉賞なども受賞しています。



国際会議EBRA2018(中国・武漢)で  
研究発表の大学院生とともに



積田教授著書  
建築空間計画・各種建築の設計テキストなど



海外建築見学研修  
ピッツバーグ  
F.L.ライト設計 落水荘の前で

## 「電大ガールズ」D-girls

今年も電大ガールズは6月、8月に行われるオープンキャンパスに参加します！毎年、女子向けの個別相談コーナーを設け、多くの女子高生や保護者の方々とお話ししています。電大女子の代表としてオープンキャンパスを楽しんでもらえるよう準備を進めています。電大入学を考えている方、大学進学に不安のある方は、在学生に質問が出来るチャンスです！ぜひお越しください。



昨年のオープンキャンパス相談コーナー

工学部 情報通信工学科 3年 水野 綾子



撮影:ArchiBIMIng  
 展示風景  
 下道基行による映像《Tsunami Boulder》と、安野太郎によるバルーンとリコーダーの様子

## 「ヴェネチア国際美術展」開幕 ～能作文徳准教授が日本館の 空間構成をデザイン～ 建築学科

5月11日にイタリアで開幕した現代美術の祭典、第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展では、建築学科の能作文徳准教授が、約90カ国が参加する「国別部門」に出展しています。各国のパビリオンに国を代表するアーティストが出展する「国別部門」は世界の美術界の注目を集めています。

日本館では「Cosmo-Eggs/宇宙の卵」をテーマに、キュレーターを服部浩之氏、美術家の下道基行氏と作曲家の安野太郎氏、人類学者の石倉敏明氏、建築家である能作文徳准教授が協働。美術家の下道氏が近年、撮影を続けてきた「津波石」を軸に、人と自然環境の関係を再考するインスタレーションとなっています。

能作文徳准教授は日本館の空間構成全体をデザインし、異分野の作品群をつなぐとともに、それらと建築空間との応答関係を築き、統合的な空間体験へとひらきました。能作文徳准教授による設計の、上階の展示室へと貫通する大きなビニール製のバルーンは安野太郎氏による音の作品の一部でもあり、バルーンから送られる空気によって、音楽を奏で鑑賞者を迎えます。

美術展の一般公開は2019年11月24日まで。2020年春には、ブリヂストン美術館(現在新築工事中)にて帰国展が開催される予定です。



撮影:ArchiBIMIng  
 日本館ピロティ風景  
 安野太郎による音の作品《COMPOSITION FOR COSMO-EGGS "Singing Bird Generator"》の一部であるバルーン的设计は能作文徳准教授が手がけた



新ユニホームで微笑む部員達

## 硬式野球部が春季リーグ優勝!! ～東京新大学野球連盟4部リーグ～

東京千住キャンパス硬式野球部

今年の硬式野球部は、部長の片山郁海、副部長 山崎航、白石一貴の3年生が中心となり、大幅なチーム改革を敢行しました。練習量を増やし、ユニホームを一新、一致団結してここまで活動して参りました。

そんな中で始まった東京新大学野球連盟4部春季リーグ戦では、5月25日に優勝をかけて決勝に挑みました。最終戦までもつれる優勝争いの結果、電気通信大学に3対1で勝利し、優勝することができました。東京海洋大学グラウンドで行われた決勝戦は、先発の石橋凌が9回1失点の好投、打っては3番 山崎航が4打数4安打の大暴れ、更に石井達也が満塁のチャンスでタイムリーを放つなど、各人が結果を残す最高の試合となりました。

4部春季リーグ戦の個人タイトルは、開幕から打撃が好調だった山崎航が打率7割を越え「首位打者」、「最優秀出塁率」の二冠王、安定した投球を続け課題となっていた投手陣を救ってくれた石橋凌が「最多勝」、「最優秀防御率」を獲得しました。

6月8日、6月9日に行われた3部の文京学院大学との入替戦では、残念ながら勝利を手にすることはできませんでしたが、引き続き秋季リーグも優勝目指して努力を重ねたいと思います。



最終戦までもつれた優勝争い

## キャンパスよもやま情報

東京千住キャンパス

### ごみゼロ地域清掃活動で ビュー坊が来校



5月28日、キャンパスプラザにて足立区の「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の一環である、地域清掃活動が行われました。足立区のキャラクター、ビュー坊も訪れ、清掃活動に参加した地域の商店街、企業、官公署の方々、総勢145人と共に活動に貢献しました。

ビュー坊は「美しいまち」は「安全なまち」という、足立区ビューティフル・ウィンドウズの理念を伝えるメッセンジャーとして日々活躍しています。

(総務部 石井)

埼玉鳩山キャンパス

### 学生食堂リニューアルプロジェクト 改修案模型展示



先月の本誌の特集記事で紹介した「学生食堂リニューアルプロジェクト Ver.3」について、理工学部建築・都市環境学系の学部生と大学院生による学生食堂「樹海」改修案模型展示が埼玉鳩山キャンパス本館1階エントランスホールで実施されています。

学生による43の提案と模型が展示され、アンケート調査を行いました。展示によりホールが華やかになり、興味深く模型を見る学生の姿が多く見られました。

(理工学部事務部 長坂)

東京小金井キャンパス

### 卒業生招待会

5月18日の19時より、武蔵小金井駅前の宮地楽器ホールにて、卒業生の懇親を深めるために卒業生招待会を開催しました。当日は、本校にて同窓会総会が行われ、その後での開催となりました。懐かしい先生方を囲んで、久しぶりに会う旧友との思い出話に花が咲きます。和やかな雰囲気の中にも、中学校・高等学校の伝統を感じさせる卒業生招待会でした。

(中学校・高等学校事務室 中野)



## 出版局 新刊のご案内

5月の新刊は、経営手法で注目を浴びているデザインマネジメントに関する書籍です。

デザインマネジメントシリーズ

### デザインマネジメント原論

デザイン経営のための実践ハンドブック

デイビッド・ハンズ 著／篠原稔和 監訳

B5変判 240頁 3,996円

デザインマネジメントの第一人者デイビッド・ハンズ氏の著書、待望の翻訳！ 初学者から実務者まで学習可能な最良の書。明快でわかりやすい内容と構成。



**TDU**  
電機大  
出版局



受賞  
情報

## 顕著な活躍をした電大人を紹介します。



栗山 晃一さん(4年)

工学部 情報通信工学科(暗号方式・暗号プロトコル研究室)

WordPress用プラグインWP Open Graphにクロスサイトリクエストフォージェリの脆弱性を発見

脆弱性番号: CVE-2019-5960, JVN#33652328

令和元年5月23日



齋藤 美優さん(修士1年)

未来科学研究科 建築学専攻(建築・環境計画研究室)

人間・環境学会(MERA)第26回大会

発表賞

令和元年5月18日



射場本 忠彦常務理事・名誉教授

百田 真史教授

未来科学部 建築学科

空気調和・衛生工学会

第57回 学会賞論文賞

令和元年5月10日



小林 巨教授

研究推進社会連携センター(レジリエントスマートシティ研究所 所長)

土木学会インフラデータチャレンジ

データ部門優秀賞

平成31年4月25日



山田 泰之助教

システムデザイン工学部 デザイン工学科

第19回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会

SI2018 優秀講演賞

平成31年3月5日



青木 駿弥さん(修士2年)

未来科学研究科 ロボット・メカトロニクス学専攻(ソフトメカニクス研究室)

第19回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会

SI2018 優秀講演賞

平成31年3月5日



蟻田 怜勇さん(4年)

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科(人間機械系研究室)

第19回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会

SI2018 優秀講演賞

平成31年3月5日



矢野 恵司さん(4年)

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科(人間機械系研究室)

第19回 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会

SI2018 優秀講演賞

平成31年3月5日

(受賞日順)

※所属・学年は受賞時

## 後援会だより

## 評議員会(総会)開催

5月25日に東京千住キャンパスにて、東京電機大学後援会評議員会(総会)を開催しました。平成30年度後援会事業報告案及び決算報告案のほか、2019年度後援会事業計画案及び予算案が承認されました。



丹羽ホールで開催された評議員会

## 2019年度 父母懇談会のお知らせ

父母懇談会とは、教職員が本学の現況や就職・進路動向についてご説明し、ご父母の皆様と懇談を行い、ご子女の勉学状況、学生生活状況等についてお知らせするものです。

本年度は下記の日程で開催します。なお、父母懇談会開催のご案内については、6月初旬にお手元に届くように発送いたしました。お申込みについては既に締め切らせていただいておりますが、万が一、ご案内状が届いていない場合は、ご面倒をおかけしますが後援会事務局迄ご連絡をお願いいたします。

◎後援会事務局 電話:03-5284-5340

## 2019年度 父母懇談会開催日程表

地方会場			
松本	9/29(日)	全学部全学科対象	アルピコプラザホテル
青森	10/6(日)		青森国際ホテル
山形	10/13(日)		山形国際ホテル
高崎	10/20(日)		ホテルメトロポリタン高崎
博多	10/27(日)		ホテルクリオコート博多
岡山	11/3(日)		ホテルメルパルク岡山
大阪	11/10(日)		大阪キャッスルホテル
浜松	11/17(日)		オークラアウトシティホテル浜松
水戸	11/24(日)		三の丸ホテル
宇都宮	12/1(日)		ホテルマイステイズ宇都宮
キャンパス会場			
東京千住キャンパス	9/21(土)	システムデザイン工学部 全学年対象	1号館2階丹羽ホール
	9/28(土)	未来科学部・情報環境学部 全学年対象	
	10/19(土)	工学部・工学部第二部 1・2年生対象	
	11/30(土)	工学部・工学部第二部 3・4年生対象	
埼玉鳩山キャンパス	9/21(土)	理工学部 全学年対象	本館2階プレゼンテーションホール

## 校友会だより



## 小金井学生寮OB会の開催

かつて東京電機大学には、三鷹寮、武蔵野寮と小金井寮という学生寮がありました。現在の東京小金井キャンパスにあった小金井寮は規模が大きく、多くの優れた卒業生を輩出しています。電気電子工学科の西方正司先生や松尾隆徳前校友会理事長もその一人です。このたび小金井寮OB会は「縦の会」に昇格しました。今後ますます、年代を超えての交流が期待されます。



東京千住キャンパスで開催された小金井寮OB会

「縦の会」とは、同期会(卒業年が同じ:横の繋がり)としてのOB会に対し、先輩-後輩のつながりとしてのOB会を指します。主に学科ごとの集まりで、代表的な「縦の会」として、建築学科卒業生OB会の「あぶの会」があります。

学生だより

## フランスのグランゼコールから留学中 ～博士課程、日本での就職を目指して～

フランス ENSMM 留学生  
協調ロボティクス研究室  
バスチャン・ポワトリモル



私は、フランス国立高等精密機械工学大学院大学 (ENSMM) からダブルディグリープログラム\*で留学している、バスチャン・ポワトリモルです。

初めて日本に来たのは、一年半前でした。最初は、上智大学で一年間日本語を学び、日本語能力試験のN3を受験し合格しました。将来、日本で就職したいと考えているので、東京電機大学で自分の勉強を続けることを決めました。

日本の習慣に慣れるには時間がかかりましたが、4ヶ月のインターンシップと友人のおかげで少しずつ日本語と日本文化を理解しました。

私の専門は、工学についてのマイクロテクノロジーですが、ロボットにも興味があるので

協調ロボティクス研究室(電気電子工学専攻五十嵐洋教授)で研究をしています。社会に貢献する研究を行いたいと思っています。大学院修了後は、学んだ知識を更に深める為、博士を目指したいと考えています。



授業の復習中

\*ダブルディグリープログラムとは、本学と海外の協定校の両方で学び、修了時に二つの学位が取得できるプログラムです。

### 新しい時代を拓いた科学・技術 vol.22

#### ヘンリー・フォード アメリカ合衆国 ● 1863年～1947年

ガソリン自動車を大量生産

「神は弱者の召使いではない。  
神は全力を出しきった者のために  
存在するのである」



©TDU

#### 自動車の育ての親、大量生産を実現

農家に生まれたフォードは、機械が好き。16歳で学校を中退し機械工となり、蒸気機関の操作に熟達。のちに会社を設立し、自動車製造に専念。農道も走ることができ、誰でも運転できる機械、すなわち自動車を作る夢を会社で実現させていきました。1908年、ついにガソリン自動車「Ford Model T」(T型フォード)が誕生。フォード社は、ベルトコンベアによる組立ライン生産方式を導入して大量生産を行い、庶民が購入できる自動車を実現しました。また同社は、労働者の賃金を上げ、福利厚生制度も導入。自動車大衆化時代と大量生産方式で、20世紀の工業社会の先駆けとなりました。

ベンツが「自動車の産みの親」ならフォードは「自動車の育ての親」にあたります。トーマス・エジソンはフォードを「アメリカに車輪をつけた」と評価。フォードは若いころエジソンの会社でエンジニアとして働いたことがあり、1896年にはパーティー会場で、尊敬するエジソンに自動車への夢を語り励まされた、といわれます。

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

豆籩を貝より開けて飾り置く  
同窓会彼の人もいる梅見かな  
つれづれの朝寝の夢や核廃棄

迺子(大園成夫)

明(井川明)

七美男(松田七美男)

# Information

## 入試センター

### オープンキャンパス開催

オープンキャンパスでは、様々なプログラムを用意し、工夫をこらした学科・学系ごとの展示やワークショップ、普段見ることができない研究室などを公開しています。

予約不要、入退場自由、服装も自由ですので、ぜひご参加ください。



## 開催日程

**東京千住キャンパス** 10:00~16:00 (9:30受付開始)

北千住駅東口(電大口)徒歩1分

- システムデザイン工学部 ● 未来科学部 ● 工学部 ● 工学部第二部(夜間部)
- 8月3日(土)、8月4日(日)

**埼玉鳩山キャンパス** 10:00~16:00 (9:30受付開始)

東武東上線高坂駅西口 スクールバス8分

- 理工学部

7月14日(日)、8月3日(土)、8月4日(日)

◎お問合せ 入試センター TEL:03-5284-5222

## 『高校生のための研究室ガイドブック2020』が完成！

研究室ガイドブックは、卒業までに必ず所属することになる研究室を紹介。学科・学系選択の参考にもなります。

- 15分野・210研究室を紹介！
- 各研究室の主な研究テーマを紹介！
- 研究室ごとの就職先を紹介！

ご希望の際は、ホームページよりご請求ください。



2020研究室ガイドブック

## 編集後記

前号のよもやま情報で紹介した理工学部蹴球部の定期戦勝利に続き、今月号では東京千住キャンパス硬式野球部がリーグ戦で優勝する等、運動部の活躍には学生の活気を感じます。

今後も本学の活動を幅広く取り上げられるよう、企画広報担当では皆様からの情報提供をお待ちしております。

# TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。